

【 調査票D : 障害児・者がいる世帯用 】
長柄町内会地区

問D-1 障害児・者の年代、性別、障害種別【複数回答】

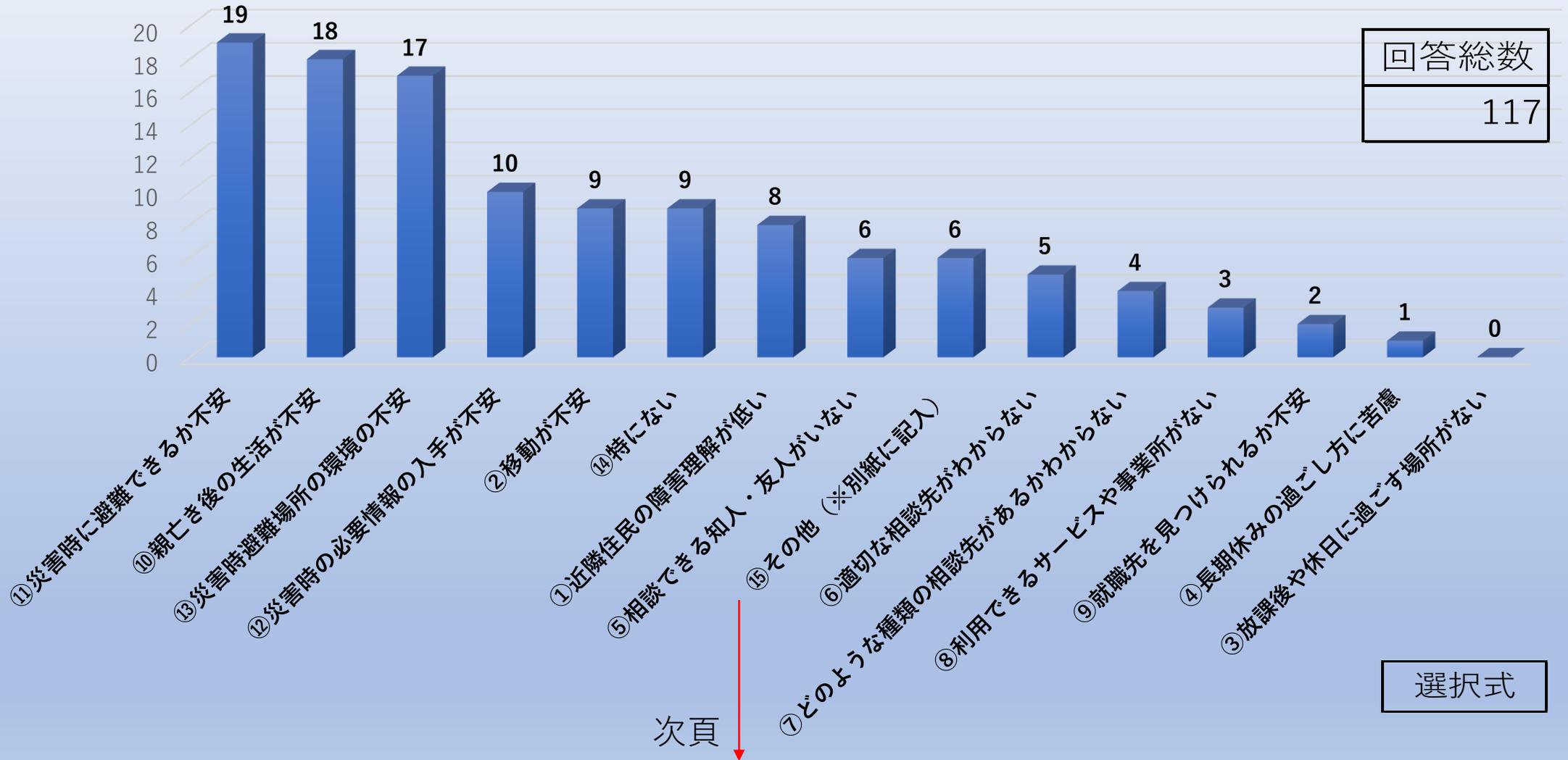
男女合計(男性30名 女性20名)		①0～5歳	②小学生 (6～12歳)	③中学生 (13～15歳)	④高校生 (16～18歳)	⑤19～64歳	⑥65～74歳	⑦75～84歳	⑧85歳以上
合計	50	1	3	1	5	24	6	4	6
ア. 視覚障害	2					2			
イ. 聴覚障害	7			1	1	2		1	2
ウ. 肢体不自由	10				3	1	3	1	2
エ. 言語機能障害									
オ. 内部障害	5					1	2	2	
カ. 知的障害	3	1				2			
キ. 発達障害	6		2		1	3			
ク. 精神障害	13					13			
ケ. その他 (※別紙に記入)	4		1				1		2

問D-1 障害児・者の年代、性別、障害種別 その他

問D-1 その他記述	
1	知的障害、B1 第2種、療育手帳
2	心臓機能障害(ペースメーカー)
3	腎臓機能障害第1級(透析)
4	透析
5	肢体不自由、第1種3級
6	内部障害、腹膜透析
7	肢体不自由、1級
8	内部障害、4級
9	肢体不自由(下肢)、4級
10	心臓機能障害(ペースメーカー)、右膝関節機能障害1級(人工関節)
11	ダウン症
12	発達障害(自閉症スペクトラム)
13	アスペルガー症候群

自由記述

問D-2 不便、困りごと、不安など【複数回答】

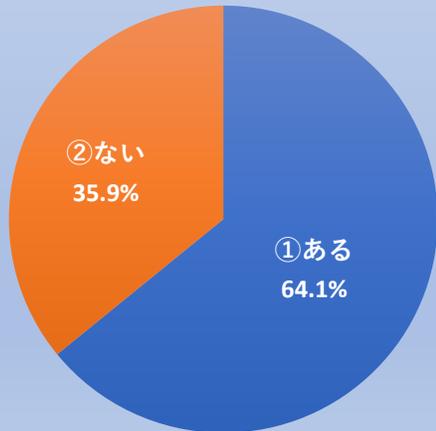
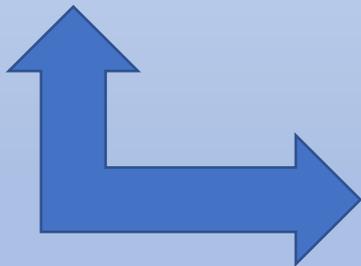




問D-2不便、困りごと、不安 その他記述	
1	家族とのコミュニケーションが充分取れない。
2	相談しても「答え」が返ってこない。
3	進路などを支援級の先生達に相談しても、情報がなく専門的なことが聞けない。
4	⑬配慮された環境にあるかの不安。 大勢の中にいることが精神的に苦痛なので、別の場所に移動できる状態であることが好ましいです。
5	外出時のボランティアさんで介護して下さる方

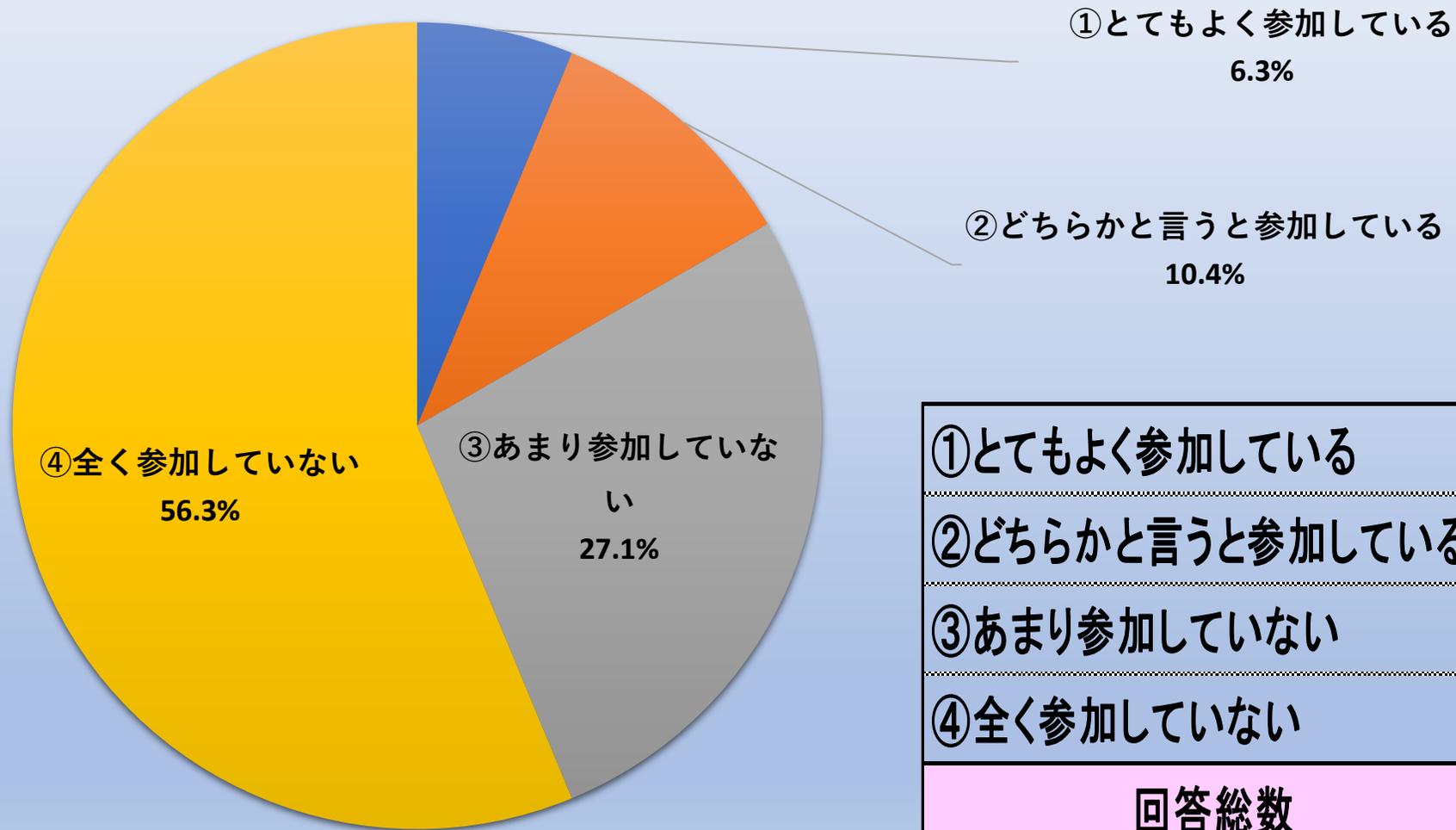
問D-3 困った時や悩んだ時の相談先	
①ある	25
②ない	14

問D-3 困った時や悩んだ時の相談先



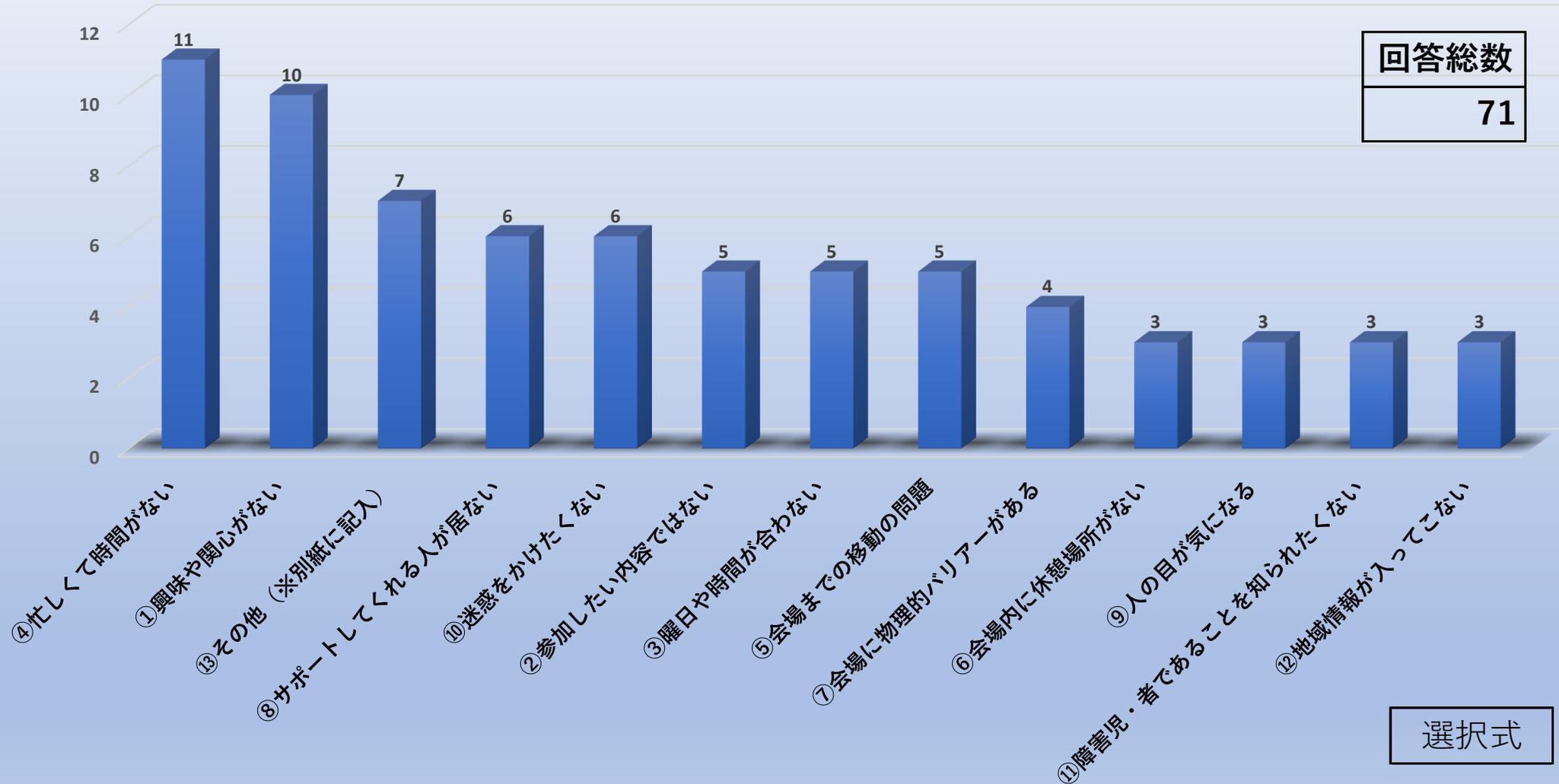
問D-3相談先の人・団体等の名称	
1	湘南の凧の担当者。 令和2年4月から担当が変わります。
2	相談は神奈川県立精神医療センターの担当医に月2回のペースで行なっているが、4月3日現在本人の通院が約6ヶ月程出来ていない。このため父親が状態の報告を隔週で行なっている。
3	かかりつけの病院（金沢エールクリニック）
4	やまさわメンタルクリニック
5	ケアマネジャー
6	主治医
7	妻と子ども（2人）
8	湘南鎌倉総合病院（循環器系）
9	湘南の凧
10	各病院
11	汐入メンタルクリニック
12	警察、葉山町福祉課、鎌倉保健福祉事務所
13	教育研究所（小学生の時から）、ヤシの実
14	介護会社のクリンリイ
15	保育園の先生や園児の親
16	ぽけっと（葉山町子育て支援センター）、たんぽぽ教室、幼稚園、家族
17	福井記念病院の主治医の先生、家族会（青い麦の会）の仲間、訪問看護サービスの看護師の方、トン工房の方

問D-4地域行事等への参加状況



①とてもよく参加している	3
②どちらかと言うと参加している	5
③あまり参加していない	13
④全く参加していない	27
回答総数	48

問D-4-(1)参加していない理由【複数回答】



問D-4-(2)参加していない理由 その他

1	鎌倉清和支援センターまで毎日通っています(土・日・祝日は休み)
2	どのような集会で、精神障害の対象がどのように出来るのかがわからない。
3	関心があっても人混みが苦手なので。
4	耳が遠くて会話が出来ないから。
5	認定を受けたばかりなので、今現在先のことはわからない。
6	子どもの頃、いじめに合っていたため、その時の同級生に会いたがらないため。
7	障害のある本人が行きたいと思っていない。

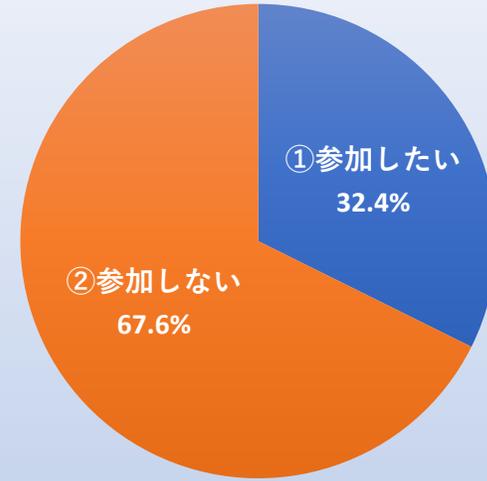
自由記述

問D-5地域行事等に参加しやすい環境や配慮

1	現状で参加しやすいと思いますが。
2	周りの人が困ってる時に気づいてくれると良い。 学校のPTA全員参加が辛い。
3	周りからの声かけ
4	現在は集会や行事に行くことが無理なので。その場所に行くまで階段等がなく、バリアフリーになっていること、トイレも障害者用があること。
5	手紙などで(外からはわからない様に)行事のお知らせがあると良い。
6	集会や行事に参加しても、子どもの様子によっては結局最後まで参加できないこともあります。みんなが出来ることや楽しめることが、本人には出来ないこともあるので、途中で抜けたり、休憩しても大丈夫なような雰囲気だと安心して参加できるかもしれません。
7	①車等での送迎がある。 ②障害のある本人にわかりやすい様、イベントの写真(複数)、内容(細かく)、順番(何から始まり、何で終わって、何時から何時までやる)等の詳細なものがあればイメージがわくので、不安もなく参加出来そう。

問D-6話会いの場への参加意向

問D-6 障害児・者が参加しやすい地域づくりの話し合 える場への参加意向	
①参加したい	11
②参加しない	23
回答総数	34



問D-7住み良い地域づくりに向けて必要な意識など 代表回答例(回答総数14)

- ①障害者が世の中のお荷物だと言わんばかりの辛い経験をしてきました。この世の中の意識を変えるためには、私達障害者だけでなく、世の中の弱者、格差と貧困の問題からくる経済的な弱者と、高齢者、子ども達など、心身の健康はあるものの、立場の弱い守られなければならない人達も、皆が社会によって経済的、生活、そして精神的に追い込まれない様な世の中づくりをしていくことが必要だと思います。中でも、経済的支援によって生活がより自由度があがること(行動範囲が広がる)から開けて行くものだと思います。老人パスや障害者だけの乗車フリーパスみたいな物への助成などなど。
- ②これらのことが憲法の規定によって遂行される行政のあり方が一番の担い手だと思います。マンパワーを長続きさせるためにも、人に余裕が必要です。財源の確保が大切かと思います。

調査票D 終わり